

e スポーツに関する意識調査 集計結果

調査期間 2019 年 10 月 9 日(水)～2019 年 11 月 1 日(金)

調査方法 郵送による全数調査 対象 114 校 *ただし、1 校のみインターネット経由

回 答 21 校(18%) *同一校別キャンパスは 2 校として扱った。

注意事項 パーセンテージは、四捨五入しているため合計が 100%にならない場合があります。

1.「e スポーツ(エレクトロニクス・スポーツ)」をご存知ですか?

- (1) 詳しく知っている ⑧38% (2) 聞いたことがある程度 ⑩48% (3) 全く知らない ③14%

2.学校に「e スポーツ」の活動をしている生徒はいますか? <複数可>

- (1) 部活動・同好会がある。 ⑤19% (2) 校外で活動している生徒がいる。 ④14%
(3) 興味・関心を持っている生徒がいる。 ③11% (4) 興味・関心を持ちそうな生徒がいる。 ⑤19% (5) 把握していない。 ⑪37%

3. 「e スポーツ」について、イメージを教えてください。

- (1) スポーツとして捉えている。 ⑥29%
(2) 競技として捉えることはできるが、スポーツとして捉えることはできない。 ⑥29%
(3) スポーツとして捉えることはできるが、競技として捉えることはできない。 ⑩0%
(4) スポーツ・競技として捉えることはできない。 ①5%
(5) わからない。 ①5%

4.高校生が「e スポーツ」に取り組むことについて、どの様に感じますか?

- (1) 好ましい ⑤24% (2) やや好ましい ⑩0% (3) どちらとも言えない ⑥29%
(4) やや好ましい ①5% (5) 好ましく無い ①5% (6) わからない ⑧38%

5. 「e スポーツ」の大会が行われる場合、生徒に参加を進めることは可能ですか?

- (1) 可能 ⑦33% (2) 不可能(進めない) ②10% (3) わからない ⑫57%

6. 進学の実現として、「e スポーツ」を志望する生徒がいた場合、どのようなスタンスで指導されますか? <自由記述>

[積極的に進める]

- ・自分の得意な分野で志望する生徒には応援するスタンスであると思います。新しい分野でも教員も共に勉強し対策をとります。
- ・生徒のやりたいことを尊重し、進学の実現に向けて指導する。現在、3 学年の生徒にも進学先に e スポーツ関係を希望している人がおり、既に進学が決まっている。
- ・目標をしっかりと設定し、それに向けて真剣にコンスタントに努力するように指導したい。
- ・今後発展していくと新しい文化だと思えますので、メンタル面も考慮しながら前向きに指導していきたいと思えます。

[条件付きで進める]

- ・三者面談で確認。求められていることへの情報提供を行い進める。
- ・保護者の正確な理解があることを確認する。将来的に経済面で確実に収入が得られるようになるか確認する。関連のある組織が社会的に信頼を確立しているのかを確認する。
- ・あくまでも本人の希望であり、「e スポーツ」志望は拒めない。
- ・話をよく聞いてから適切に対応する。
- ・個人的な活動での実績として進学に利用するのであれば構わない(AO 入試等での活用)
- ・志望した先に見えてくるものが「e スポーツ」と似たものとして俳優や声優、芸能、スポーツという分野が考えられるが、それらと同様のスタンスでの指導になると考えられる。同様に、その分野が持つ将来像の広がり方や志望する生徒の実績によって指導が難しい分野になると思われる。
- ・生徒自身の学習を中心として可能な限り支援をしたい。授業などのカリキュラムに組み込めるかは不明です。
- ・本校には部活動そのものが無いため、本人の自助努力に任せざるを得ない。仮に部活動が発足したとして基本スタンスはインハイを目指す運動部やコンクールを目指す吹奏楽、合唱などの活動に準ずるものとした(せざるを得ない)。
- ・「ゲーム＝競技」として捉えて真剣に取り組む過程で、“何を得たのか”(例えば、協調性、思考力、集中力、忍耐力、視野の広さ等)を明確にさせたい。
- ・e スポーツでの結果がどのようなものかによって決めている。大学のサークル等の利用も考えている。
- ・専門学校等の OPC へ保護者を含め e スポーツの理解をもらう。

[その他]

- ・まず e スポーツとは何ですか?それが分からないと先に進みません。

7. 学校で「e スポーツ」に取り組む場合、どのような問題点が考えられますか? <自由記述>

[環境課題(場所・施設・顧問)]

- ・例えば部を創りたいとなった時に、場所、顧問等厳しい状況にあるので e スポーツ部と言われても創部は無いと思う。
- ・場所、経費などの確保
- ・時間、場所、費用の問題。
- ・機材などの施設・設備、環境整備が困難。顧問の配置が困難。活動団体として承認されるか(生徒・教員)不明。
- ・施設・設備をどうするかという問題。
- ・パソコンなどを揃える必要があります。指導者がいない。

・大会がどのような規模、数で定着していくのかにもよるが、ソフトウェア、ハードウェア(家庭用ゲーム機)をその都度調達するのは現実的ではない。いきおい、学校の備品に頼らざるを得なくなるが、じゅうぶんな性能の PC をそろえることは難しく、また、回線が脆弱であることも大きな問題である。

・機材が人数に対して少ない場合の対応。

・入部希望者が殺到してしまった場合、どのように人数制限するか。PC が 5 台しかないので、あまり人数が増えると 1 人当たりの練習時間が確保できない。

[負の作用]

・活動時間の自己管理と依存症への懸念。

・授業や学習への影響

[周囲の理解]

・保護者、地域住民の理解が必要である。

・保護者の考え方の違い。少しずつ保護者も理解していただいている感覚はあります。

[娯楽としての印象]

・個人としてゲームや e スポーツに取り組むことに対して、否定的な意見はないが、「社会的信頼」において「ゲーム業界」は良くない話も多いため「e-sports」に対する印象も悪い影響を与えている。「e-sports」に真摯に取り組んでいる方も多くいると思うが、「将来の仕事」や「社会的な信頼」が確立されるまで学校が公的に応援や支援するのは難しいと思う、

・ゲームや遊びとの境界の問題(学校教育活動に位置づけられるのか)。

・学内、学外問わず「ゲームをしているだけの部」とおもわれてしまう事。まだまだ「競技」の側面に焦点が当たることは少ない。理解を得るのが難しい…。

[実践しての課題]

・現在、授業で e スポーツを行っている。ゲームを通じてコミュニケーション力を育てたいというコンセプトで行っているが、リアルな e スポーツに触れさせたい。月曜と水曜に行っているため、授業の一環でイベントに連れていきたいと考えている。そのため、職業としての e スポーツに生徒に触れさせられていないのが問題点である。

[情報不足]

・e スポーツといっても様々な種類があるので、何か大会の一覧の HP あればよいかもしれない。

8. 回答者の属性

(1)担当教科(回答があったもののみ)

保健体育 ⑤ 情報 ③ 英語 ③ 商業 ② 地歴公民 ② 国語 ②

家庭科 ① 数学 ① 工業 ①

(2)年代(回答があったもののみ)

20代 ① 30代 ③ 40代 ⑨ 50代 ⑥ 60代 ① 60代以上 ①

(3) 回答校一覧 *取り扱いにはご注意ください。

宮城県名取北高等学校
宮城県亘理高等学校
宮城県仙台第一高等学校
宮城県仙台二華高等学校
宮城県仙台南高等学校
宮城県仙台第二高等学校
宮城県宮城第一高等学校
宮城県黒川高等学校
宮城県迫桜高等学校
宮城県本吉響高等学校
宮城県白石高等学校 七ヶ宿校
宮城県貞山高等学校
宮城県美田園高等学校
東北高等学校(館キャンパス)
東北高等学校(小松島キャンパス)
仙台育英学園高等学校
仙台北南高等学校
仙台白百合学園高等学校
東陵高等学校
星槎国際高等学校(仙台学習センター)
屋久島おおぞら高等学校(仙台入学相談室)

以上